

看護配置について

当センターは一般病棟7対1入院基本料を届けています。平均入院患者7人に対し1人の看護職員を配置しています。また入院患者50人に1人の看護補助者を配置しています。

7:1 看護基準

朝9:00～夕方5:00まで

看護職員1人当たり受持ち患者数は7人

夕方5:00～翌朝9:00まで

看護職員1人当たりの受持ち患者数は12人



看護配置について

当センターは、HCU(高度治療室)入院基本料を届けております。
入院患者さん4人に対して1人の看護職員を配置しています。



 **さいたま市民医療センター**

看護配置について

当センターは、SCU(脳卒中治療室)
入院基本料を届けております。
入院患者さん3人に対して1人の
看護職員を配置しています。



 **さいたま市民医療センター**

看護配置について

13:1 看護基準

当センターは回復期リハビリ病棟入院料1を届けています。平均入院患者13人に対し1人の看護職員を配置しています。また入院患者30人に1人の介護福祉士(又は看護補助者)と、リハビリスタッフ27人を配置し365日機能回復に向けてリハビリ訓練を実施しています。



回復期リハビリテーション病棟実績指数等報告

I 直近3か月の退棟患者数及び回復期リハビリテーションを要する状態の内訳

直近3か月の退棟患者数	63
回復期リハビリテーションを要する状態の内訳(R7.1～R7.3)	
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症または術後の状態もしくは義肢装着訓練を要する状態	37
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折、2肢以上の多発骨折の発症または術後の状態	13
外科手術または肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有している状態	8
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の神経、筋、または靱帯損傷後の状態	1
股関節または膝関節の置換術後の状態	4
急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0

II 直近6か月における回復期リハビリテーション病棟実績指数

① 前月までの6か月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	138名
② ①のうち、実績指数の計算対象とした患者数	102名
③ ②の患者の退棟時のFIM得点(運動項目)から入棟時のFIM得点(運動項目)を控除したものの総和	2,348点
④ ③の患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和	42.61点
⑤ 実績指数(③÷④)	55.10点
⑥ 直近に報告した実績指数	50.90点